

このたびの定期異動により、苓北支援学校に着任いたしました濱本祐恵と申します。苓北支援学校には、平成22年度から平成24年度まで教頭として勤務した経験があり、縁あって再び勤務できますことを大変嬉しく思っています。

色とりどりの花が咲きほころび、若葉が芽吹きはじめた4月8日には、中学部1人、高等部5人の新入生を迎え、全校児童生徒19人で平成28年度がスタートしました。

本年度は、32人の教職員が「児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援をとおして、個々の可能性を伸ばし、現在の生活の充実と将来の自立と豊かな生活につながる教育を行う」という学校教育目標に向けて、心を一つにして教育活動に取り組んでいきます。

春休みで静まりかえっていた校舎に、新学期とともに児童生徒の明るい笑顔が溢れていますが、県内では4月14日夜の震度7の強い前震と4月16日深夜の本震と二つの大きな地震以来まだ余震が続いています。今回の地震では、本校は震源とされる地域からは離れており、児童生徒、教職員及び学校施設に被害は出ておりません。ただ、児童生徒のご家庭は県下全域にわたり、被災地域やその近くにお住まいの保護者やその家族の皆様もおられます。改めて安全・安心の有り難さと児童生徒をお預かりする責任の大きさを感じています。

熊本や大分で多くの方々が不安な日々を過ごされており、不自由な生活を余儀なくされておられます。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、地震活動が一刻も早く終息し、被災地域の早い復旧を祈るばかりです。そして、学校の立地上、直接的な支援は難しい状況にありますが、本校にできることはないかと模索しているところです。テレビ等では、全国各地からの温かい支援の情報が続々と届いています。今回も人と人とのつながりや支え合いの大切さを痛感しています。児童生徒一人一人との「出会い」と保護者の皆様をはじめ、本校教育を支えてくださる全ての方々との「出会い」を大切にして、誠実に学校づくりを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年4月18日